

# 学生＋教職員向け無料講演会

北大生ならどなたでも参加できます！



## 成人期の自閉スペクトラム症を考える

～当事者の困り事から

周囲の人ができるサポートまで

発達障害や発達傾向という言葉はよく耳にするとお思いますし、発達障害が疑われるような人が身近にいることはとても多いと感じます。発達障害は幼少期に診断されることが多いですが、大学生や成人になり環境が変わったことで、困難さが表面化し診断を受けることもあります。特に自閉スペクトラム症（ASD）についての社会的な理解はまだまだ深まっていないですし、当事者の困りごとのみならず、周囲の人でも対応に苦慮してしまうことが散見されます。

本講演会では、発達障害の正式な診断名である神経発達症の種類や特徴について簡単に説明した後、成人期におけるASDのある方の困りごとや特性について解説します。ASDに関しては、当事者のソーシャルスキルの獲得と、周囲の方との協力による環境調整をすることが重要と言われています。またASDの2次的な症状に苦しむ方も多くいます。この講演会を通して、神経発達症、特にASDの症状に関する理解を深めると同時に、当事者や周りの大学生や教職員がサポートについて学び、障害があるなしに関わらず、全ての人が過ごしやすい環境になってくれることを目指します。

【日時】 令和5年12月7日（木） 13：00～14：30

**対象：**高等教育機関に所属する教職員、北海道大学の学部生及び大学院生

**定員：**対面30名、オンライン100名

**講師担当：**佐藤 徹男  
(学生相談総合センター留学生相談室 副室長/准教授)

**実施方法：**情報教育館3階スタジオ型研修室にて対面、  
及びオンラインライブ配信

**演題：**「成人期の自閉スペクトラム症を考える  
～当事者の困りごとから周囲の人ができるサポートまで」



参加申込

<https://ctl.high.hokudai.ac.jp/sacc20231207/>  
オンライン参加URL等はお申し込み後にご連絡いたします。

主催：ダイバーシティ・インクルージョン推進本部  
共催：学生相談総合センター、高等教育研修センター